



信用金庫の預金利回り

ポイント

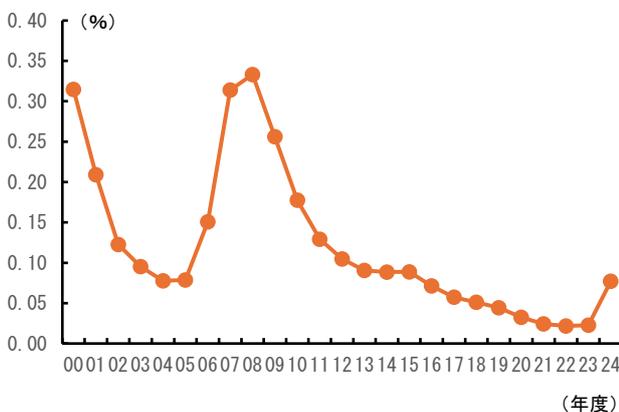
- 2024年度の信用金庫の預金利回りは、前期比0.05ポイント上昇の0.07%となり、2年連続で前年度を上回った。
- 2024年度の預金平残が2000年度比60.3%増加したものの、預金利回りは同0.23ポイント低下したため、出来上がりの預金利息は60.6%減少した形となる。
- 2024年度の地区別の預金利回りは、全11地区で前期から上昇しており、なかでも東海(0.06ポイント上昇)が目立った。
- 2024年度の信用金庫別の預金利回り(構成比)は、①0.05%未満が11.4%、②0.05%~0.10%が81.4%、③0.10%以上は7.0%となった。

1. 全国の状況

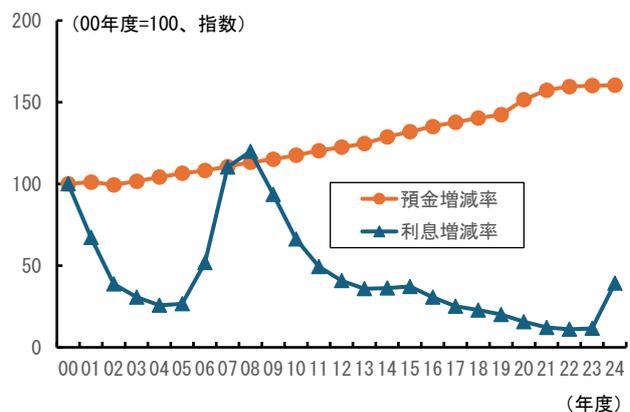
2024年度の信用金庫の預金利回りは、前期比0.05ポイント上昇の0.07%となり、2年連続で前年度を上回った(図表1)。信用金庫の預金利回りは市場金利が上昇した2008年度(0.33%)を直近のピークに低下を続けていたが、マイナス金利政策の解除に伴う「金利のある世界」の到来で上昇方向に転じた。また人口の減少・少子高齢化が地方部中心に加速する現在、定期預金の金利上乘せキャンペーンなどが激化しており、預金利回りを押し上げている。

預金利息=預金平残×預金利回りとすると、2024年度の預金平残は2000年度比60.3%増加したものの、預金利回りがこの間に0.23ポイント低下したため、預金利息は60.6%減少した形となる(図表2)。なお、今後については預金利回りの上昇を主因とした預金利息の増加が予想される。

(図表1) 預金利回りの推移



(図表2) 預金利息と平残の推移



(備考) 図表1から4まで信金中央金庫 地域・中小企業研究所作成

2. 地区別の状況

2024年度の地区別の預金利回りは、全11地区で前期比上昇しており、なかでも東海の上昇幅（0.06ポイント上昇）が目立った（図表3）。地区別の預金利回りを比べると、最も高い近畿の0.10%から東京などの0.05%まで0.05ポイントの差がみられた。

また、2000年度からの変化幅では近畿が0.30ポイントの低下となり、北陸の0.28ポイント低下、東京の0.27ポイント低下が続いている。

（図表3）地区別の預金利回り

（単位：%、ポイント、百億円）

地区	00年度	10年度	20年度	23年度	24年度	00年度比 増減P	23年度比 増減P	預金利息	預金平残	貸金利回
北海道	0.24	0.15	0.01	0.01	0.06	△ 0.18	0.05	5	869	1.58
東北	0.24	0.15	0.01	0.01	0.06	△ 0.18	0.05	3	600	1.64
東京	0.33	0.15	0.01	0.01	0.05	△ 0.27	0.04	16	2,845	1.60
関東	0.25	0.14	0.02	0.01	0.06	△ 0.18	0.05	20	3,024	1.41
北陸	0.33	0.22	0.01	0.00	0.05	△ 0.28	0.04	2	404	1.26
東海	0.30	0.17	0.02	0.01	0.08	△ 0.22	0.06	28	3,469	1.12
近畿	0.41	0.24	0.06	0.05	0.10	△ 0.30	0.05	36	3,386	1.48
中国	0.28	0.14	0.02	0.01	0.07	△ 0.20	0.05	4	678	1.46
四国	0.27	0.28	0.07	0.04	0.09	△ 0.17	0.04	3	325	1.72
九州北部	0.28	0.14	0.02	0.01	0.06	△ 0.22	0.04	1	279	1.73
南九州	0.26	0.16	0.02	0.01	0.05	△ 0.20	0.04	1	316	2.08
全国	0.31	0.17	0.03	0.02	0.07	△ 0.23	0.05	125	16,225	1.44

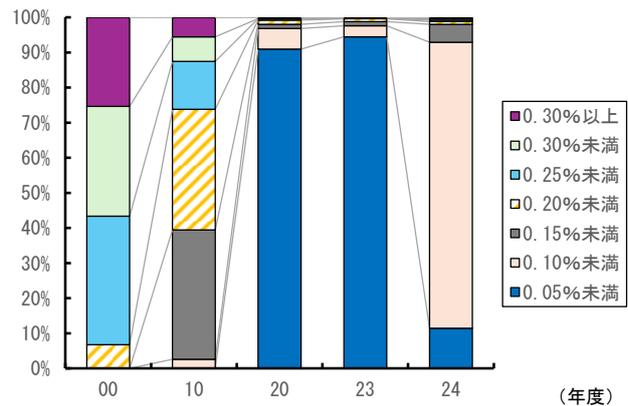
（備考）沖縄県は全国に含む。

3. 信用金庫別の状況

2024年度の信用金庫別の預金利回り（構成比）は、①0.05%未満が11.4%（29金庫）、②0.05%～0.10%が81.4%（207金庫）、③0.10%以上は7.0%（18金庫）となった（図表4）。2024年度の預金利回りは0.07%だったが、中央値は0.06%となる。また0.2%台が3金庫あり、所在地区で見ると北海道1、近畿2だった。一方、0.03%未満は6金庫あり、所在地区では北海道の2金庫と、東北、東海、近畿、九州北部の各1金庫となる。

2000年度の構成をみると、0.3%以上が25.3%（94金庫）と4分の1を占めたが、2024年度には0.3%（1金庫）にまで低下している。

（図表4）信用金庫別の預金利回り（構成比）



本レポートは発表時点における情報提供を目的としており、文章中の意見に関する部分は執筆者個人の見解となります。したがって、投資・施策実施等についてはご自身の判断をお願いします。また、レポート掲載資料は信頼できると考える各種データに基づき作成していますが、当研究所が正確性および完全性を保証するものではありません。なお、記述されている予測または執筆者の見解は予告なしに変更することがありますのでご注意ください。